

「雪どけ」

— 2 稿 —

2024/1/1

雨森 れに

〈人物表〉

西田 ゆみか

(5)

祖父母に預けられている

西田 洋子

(25)

ゆみかの母親。出稼ぎに行っている。

祖母

(65)

祖父

(65)

〈ログライン〉

祖父母に預けられているゆみかが、1年に1回しか会えないことで距離感がわからなくなっている洋子に対し戸惑い、急な予定変更に怒るが、誕生日を忘れられていなかったことに安堵する。

〈ねらい〉

一緒にいられない親子の難しさ。子供の中にある寂しさ。

1. 西田宅・外観(夜)

雪国の田舎町。駐車場のある一軒家。雪が降り、屋根や塀、停めてある車にも積もっている。家の前にはエンジンを鼻にした雪だるま。

2. 西田宅・リビング(夜)

祖母(65)の膝に座ってお絵描きをする西田ゆみか(5)。

まわりには子供用の上着とニット帽が落ちている。

ゆみかは描いた絵の上に「ママ」と書きこむ。

ゆみか、眠そうに目をこする。

時計は21時を指している。

時計の近くに1980年1月のカレンダー。13日

から19日までマル、20日に花マルがついている。

祖母が心配そうな表情でゆみかの頭を撫でる。

ゆみか、悲しそうな顔で祖母を見上げる。

固定電話が鳴る。

祖父(65)が受話器を取り、すぐに切って上着を着る。

祖母、祖父の様子を見て嬉しそうに頷く。

祖母はゆみかを立たせて、上着を着せる。

ゆみか、祖母からニット帽を渡される。

ゆみかは満面の笑みでニット帽を深く被る。

祖父がその様子に微笑み、車を取りに行く。

3. 車内(夜)

ヘッドライトに降る雪が照らされる。

ライトの当たるところにゆみかが現れる。

祖父に向かって大きく手を振る。

祖父、微笑む。

後ろから祖母がゆみかを抱き上げ、車に乗り込んでくる。

車が動き出す。

ゆみか、祖母の膝の上で外の景色を見る。

× × ×

広い県道。

コンビニから、子供を抱っこして出てくる女性とその隣を歩く男性が出てくる。

× × ×

ゆみか、コンビニから出てきた家族が見えなくなるまで見つめる。

それから運転席の祖父と自分を抱える祖母を順に見て、口を一文字に結ぶ。

4. 駅・外観（夜）

駅前のロータリーに西田家の車が停まる。

助手席から勢いよく飛び出すゆみか。

それを追う祖母。

5. 駅・構内（夜）

停まっていた電車が去っていき、人がまばらに改札を通る。

改札横の柵に掴まるようにしてゆみかがホームを覗き込む。

すり抜けていきそうなゆみかをうしろから祖母が捕まえている。

改札内、10メートルほど先からスーツケースをひく西田洋子（25）がうつ向きがちに歩いてくる。

ゆみか、祖母の腕を叩く。

祖母、ゆみかを抱き上げる。

ゆみか、洋子に向かって大きく手を振る。

洋子、ゆみかに気付くが、歩くペースを変えない。

ゆみか、不思議そうに祖母を見る。

祖母、困った表情を浮かべる。

改札を通り抜けた洋子に、祖母から降りたゆみかが駆け寄る。

焦ったように困惑する洋子。

洋子、おそろおそろゆみかの頭を撫でる。

ゆみか、嬉しそうに目を細めて頭を押し付ける。

6. 車内(夜)

家に向かっていく最中。

後部座席で洋子にくっつくゆみか。

洋子、ちらりとゆみかを見る。

7. 同・リビング(夜)

家族でテーブルを囲む。大人の前にはお茶、ゆみかの前にはホットミルク。

ゆみか、ミルクにマシユマロを浮かべ、一口飲む。

洋子にわけようとするが、洋子は無表情で首を振る。

ゆみか、うつむく。

祖父、険しい顔のため息をつく。

洋子、席を立ち、リビングに続く和室へ向かう。

ゆみか、洋子を追いかけてたいが動かない。

8. 同・和室(夜)

パジャマで布団に横になっている洋子。

パジャマ姿のゆみかが洋子の傍に立つ。

洋子、めんどくさそうに布団をめくる。

ゆみか、笑顔で洋子の隣に入る。

9. 同・和室(朝)

洋子を揺り起こすゆみか。

洋子、不機嫌そうに起きる。

リビングから祖母がふたりの上着を差し出してくる。

10. 同・外(朝)

雪遊びをするゆみかとそれを眺める洋子。

ゆみか、もともとあった雪だるまのニンジン指差す。

す。

洋子、首を傾げる。

ゆみか、ニンジン指を勢いよく引き抜いて、自分の鼻

に当てる。

洋子、驚き、笑う。

ゆみか、ニンジン洋子を渡す。

洋子、ゆみかの頭をかわいがるように撫でる。

11. 同・リビング(朝)

戻ってきてゆみかの上着を脱がしてやる洋子。

固定電話が鳴る。

電話のディスプレイには「ヨウコカイシャ」の表示。

洋子、動かず電話を見つめる。

ゆみか、その様子を不思議そうに見る。

× × ×

うつむくゆみか。

洋子が触ろうとすると和室へ逃げる。

洋子、追いかける。

ゆみか、怒ったように襖を閉じる。

洋子、諦めたように和室から離れ、スーツケースを

持つ。

12. 同・外(朝)

エンジンのかかっている車に洋子が乗り込む。

13. 同・和室(朝)

車が動き出す気配に気づくゆみか。

急いで襖を開ける。

リビングには祖母。ゆみかを見て首を振る。

ゆみか、涙を溢れさせ、大声で泣く。

14. 同・構内(朝)

電車が到着してドアが開く。

洋子、ゆみかが迎えに来てくれた場所を見てか

ら、乗り込む。

15. 西田宅・和室(昼)

泣き疲れて寝ているゆみか。

布団の近くには「ママ」と書かれた洋子の似顔絵。

16. 電車内(昼)

一般的な特急電車の指定席。

洋子が写真を取り出し見つめる。

写真にはケーキを食べているゆみか。丸文字で「1

979年1月20日 ゆみか4歳」と書かれている。

17. 同・リビング(昼)

テーブルに向かい合って座る祖父と祖母。

祖父が祖母にお金の入ったふあつい封筒を渡す。

封筒には丸文字で「ゆみかのお金」と書いてある。

祖母が申し訳なさそうに封筒を受け取る。

18. 同・リビング(夜)

お絵描きをするゆみか。

電話機が鳴る。

祖母が電話に出る。

祖母、驚く。

ゆみかに受話器を差し出す。

ゆみか、イヤイヤとするように首を振る。

祖母、受話器を祖父に渡す。

祖父、驚いた表情。

ゆみか、首を傾げる。

祖父、電話を切って、ゆみかを抱き上げる。

カレンダーの1月20日を指差す。

ゆみか、目を見開いてから、笑顔。

19. 同・リビング(朝)

テレビにニュースが映っている。1月20日の文字。

テーブルには洋子の似顔絵。

20. 同・外(朝)

快晴。駐車場に車はない。

祖母と塩カルを撒くゆみこ。

雪だるまが少し崩れていて、ニンジンが転がっている。

ゆみか、ニンジンに気付き、見つめる。

車が家の前に停まる。

洋子がケーキの箱を持って降りてくる。

ゆみか、洋子に抱き着く。

洋子、ゆみかの頭をしっかりとした手つきで撫でる。

ゆみか、顔をすりつけて泣く。

おわり